

教科の指導内容表

「音楽」「~~国~~国工作」「美術」「体育」「保健体育」

平成23年度

長崎県立長崎特別支援学校

「音樂」

小学部低学年「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
うたでもだちをつくろう（4、5月）	(1) 音楽が流れている中で体を動かして楽しむ。(小学部1段階) (2) 音の出るおもちゃで遊んだり、扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。(小学部1段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ① リズムや速さを感じとり、体を動かしたり、楽器の音を鳴らしたりする。
- ② ピアノやベルの音色に気づき親しむ。
- ③ 歌やリズム、楽器の音、動きを感じながら友だちや教師との活動を楽しむ。

○身につけてほしい力
見たり聴いたりする力
興味関心を広げる力
身近な大人とかかわる力

○関連する自立活動の内容

心理的な安定＜情緒＞

3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

人間関係の形成＜人や物との関係（二項～三項関係）＞

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
7. 握らせるとガラガラなどの玩具を振ることができる
8. 欲しい物に手を伸ばすことができる
11. 両手に握った玩具を打ち合わせて楽しむことができる

環境の把握感覚＜感覚（聴覚）＞

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する
2. 大きな音に不快気に反応する
3. 紙やビニールなどのかさつく音を探るように頭を動かすことができる
4. 名前を呼ばれたり話しかけたりすると反応することができる
5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる
6. 音を出す玩具を喜ぶ
7. 身近な人の声を聞き分けて反応することができる
8. 静かな音に興味を示すことができる

身体の動き＜上肢の操作＞

2. 目的の物に手を伸ばすことができる
4. 手や持っている物で机や台をたたくことができる
7. 両手を合わせて拍手ができる

コミュニケーション＜表出（発声・発語）＞

2. 不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる
4. 気に入らないと「うーうー」などの声を出して怒りを表すことができる

○学習内容

- | | |
|----------------------------|--|
| ○「♪あたま かた ひざ ぼん」
(音楽遊び) | <ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に歌ったり、タッピングを受けたりする。 ・簡単な振り付けと一緒に体を動かしたりする。 |
| ○「♪手をたたきましょう」
(音楽遊び) | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音に気づき、興味をもって聴く。楽器（太鼓、鈴、タンブリン） ・好きな楽器の方を見たり手を伸ばしたりする ・自由に楽器の音を出す。 ・教師と一緒に曲の一部分で楽器を鳴らす。 |
| ○「♪ちょうちょう」(音楽遊び) | <ul style="list-style-type: none"> ・画像や教材のちょうちょうを見て歌の内容や雰囲気を知る。 ・繰り返し曲を聴いて覚える。 ・リズムに合わせて、教師と一緒に身体や机などを叩いたり、移動したりする。 ・ピアノやベルの音色に関心を示す。 ・CDから流れる音楽や歌に関心を示す。 |
| ○「♪さんぽ」(音楽遊び) | <ul style="list-style-type: none"> ・曲に合わせて、車いすで動いたり、身体を動かしたりして曲想を楽しむ。 |

○評価規準

- ・音楽に合わせて体を動かしてもらったり、早さやリズムが変わったりすると、表情やしぐさなどで気づいたような反応を示すことができたか。(①)
- ・主に上肢を使って、握ったり放したり、振ったり、叩いたりするなどして、楽器の音を出すことができたか。(①)
- ・曲が流れている間、そちらの方に注意を向け、聴くことができたか。(②)
- ・楽器の音や音の違いに表情やしぐさなどで気づいたような反応を示すことができたか。(②)
- ・活動の中で、友達や教師の声や動きに注意を向けたり、微笑みかけたりするなどしてかかわることができたか。(③)

小学部低学年「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
おんがくにあわせてあそぼう（6、7月）	(1) 音楽が流れている中で体を動かして楽しむ。（小学部1段階） (2) 音の出るおもちゃで遊んだり、扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。（小学部1段階）

○本単元でねらう具体的な目標

- ① 曲に合わせて教師とふれ合ったり、体を動かしたりしながら音楽を楽しむ。
- ② 教師が鳴らす楽器等の音に気づき、音源の方を見たり、音の違いを感じる。

○身につけてほしい力

- 見たり聴いたりする力
 興味関心を広げる力
 身近な大人とかかわる力
 友達とかかわる力

○関連する自立活動の内容

心理的安定＜情緒＞

3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる
人間関係の形成＜人や物との関係（二項～三項関係）＞

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
7. 握らせるとガラガラなどの玩具を振ることができる
8. 欲しい物に手を伸ばすことができる
11. 両手に握った玩具を打ち合わせて楽しむことができる

環境の把握＜感覚（聴覚）＞

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する
2. 大きな音に不快気に反応する
3. 紙やビニールなどのかさつく音を探るように頭を動かすことができる
4. 名前を呼ばれたり話しかけたりすると反応することができる
5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる
6. 音を出す玩具を喜ぶ
7. 身近な人の声を聞き分けて反応することができる
8. 静かな音に興味を示すことができ

身体の動き（上肢の操作）

2. 目的の物に手を伸ばすことができる
4. 手や持っている物で机や台をたたくことができる
7. 両手を合わせて拍手ができる

コミュニケーション＜表出（発声・発語）＞

2. 不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる
4. 気に入らないと「うーうー」などの声を出して怒りを表すことができる

○学習内容

○「♪ぶん ぶん ぶん」 （音楽遊び）	<ul style="list-style-type: none"> ・セラピーボールの上でリズムに合わせて弾んだり、教師からタッピングを受けたりする。 ・簡単な振り付けと一緒に体を動かしたりする。
○「♪きらきらぼし」(音楽遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音に気づき、興味をもって聴く。楽器（ツリーチャイム、ベルチャイム、ハンドベル） ・教師が鳴らす音に気づいたり、音源の方向に顔を向けたりする。 ・好きな楽器の方を見たり手を伸ばしたりする。
○「♪かえるのうた」(音楽遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ・替え歌をしながら、いろいろな動物の鳴き声（擬音や楽器）を聴いて楽しむ。 カエル→ギロ、カラス→擬音、タヌキ→小太鼓
○「♪かっこうワルツ」 （音楽遊び）	<ul style="list-style-type: none"> ・曲に合わせて、車いすで動いたり、体を動かしたりして曲想を楽しむ。

○評価規準

- ・音楽に合わせて体を動かしてもらったり、早さやリズムが変わったりすると、表情やしぐさなどで気づいたような反応を示すことができたか。(①)
- ・曲が流れている間、そちらの方に注意を向け、聴くことができたか。(②)
- ・楽器等の音の違いに表情やしぐさなどで気づいたような反応を示すことができたか。(②)
- ・活動の中で、友達や教師の声や動きに注意を向けたり、微笑みかけるなどしてかかわることができたか。(①)

小学部低学年「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
いろいろな音をたのしもう (9、10月)	(1) 音楽が流れている中で体を動かして楽しむ。(小学部1段階) (2) 音の出るおもちゃで遊んだり、扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。(小学部1段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ①曲に合わせて教師とふれ合ったり、体を動かしたりしながら音楽を楽しむ。
- ②教師が鳴らす楽器等の音に気づき、音源の方を見たり、音の違いを感じる。

○身につけてほしい力

見たり聴いたりする力
興味関心を広げる力
身近な大人とかかわる力
友達とかかわる力

○関連する自立活動の内容

心理的安定<情緒>

3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる
人間関係の形成<人や物との関係(二項～三項関係)>

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる

7. 握らせるとガラガラなどの玩具を振ることができる

8. 欲しい物に手を伸ばすことができる

11. 両手に握った玩具を打ち合わせて楽しむことができる

環境の把握<感覚(聴覚)>

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する

2. 大きな音に不快気に反応する

3. 紙やビニールなどのかさつく音を探すように頭を動かすことができる

4. 名前を呼ばれたり話しかけたりすると反応することができる

5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる

6. 音を出す玩具を喜ぶ

7. 身近な人の声を聞き分けて反応することができる

8. 静かな音に興味を示すことができる

身体の動き(上肢の操作)

2. 目的の物に手を伸ばすことができる

4. 手や持っている物で机や台をたたくことができる

7. 両手を合わせて拍手ができる

コミュニケーション<表出(発声・発語)>

2. 不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる

4. 気に入らないと「うーうー」などの声を出して怒りを表すことができる

○学習内容

○「♪ぶん ぶん ぶん」 (音楽遊び)	・セラピーボールの上でリズムに合わせて弾んだり、教師からタッピングを受けたりする。 ・簡単な振り付けと一緒に体を動かしたりする。
○「♪きらきらぼし」(音楽遊び)	・楽器の音に気づき、興味をもって聴く。楽器(ツリーチャイム、ベルチャイム、ハンドベル) ・教師が鳴らす音に気づいたり、音源の方向に顔を向けたりする。 ・好きな楽器の方を見たり手を伸ばしたりする。
○「♪かえるのうた」(音楽遊び)	・替え歌をしながら、いろいろな動物の鳴き声(擬音や楽器)を聴いて楽しむ。 カエル→ギロ、カラス→擬音、タヌキ→小太鼓
○「♪かっこうワルツ」 (音楽遊び)	・曲に合わせて、車いすで動いたり、体を動かしたりして曲想を楽しむ。

○評価規準

- ・音楽に合わせて体を動かしてもらったり、早さやリズムが変わったりすると、表情やしぐさなどで気づいたような反応を示すことができたか。(①)
- ・曲が流れている間、そちらの方に注意を向け、聴くことができたか。(②)
- ・楽器等の音の違いに表情やしぐさなどで気づいたような反応を示すことができたか。(②)
- ・活動の中で、友達や教師の声や動きに注意を向けたり、微笑みかけるなどしてかかわることができたか。(①)

小学部低学年「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
いろいろなリズムをたのしもう(10、11月)	(1) 音楽が流れている中で体を動かして楽しむ。 (2) 音の出るおもちゃで遊んだり、扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。 (小学部1段階) (小学部1段階)

○本単元でねらう具体的な目標

①音楽に合わせて動く中で、穏やかな表情やリラックスした様子を見せたり、笑顔になったりする。

②音楽を聴きながら、目の前に提示された教材に興味をもち、見たり触れたりする。

③教師の鳴らす音に気づく・聴き入るなどしたり、自らの動きで楽器を鳴らしたりする。

○身につけてほしい力

見たり聴いたりする力
興味関心を広げる力
身近な大人とかかわる力
友達とかかわる力

○関連する自立活動の内容

人間関係の形成<人や物との関係(二項~三項関係)>

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる

8. 欲しい物に手を伸ばすことができる

11. 両手に握った玩具を打ち合わせて楽しむことができる

環境の把握<聴覚>

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する

5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる

6. 音を出す玩具を喜ぶ

8. 静かな音に興味を示すことができる

<体性感覚>

8. 玩具を握ったり眺めたりすることができる。

10. 手を伸ばして物をつかむことができる

<認知>

3. 食事の準備や外出など)身近な出来事が起こることを予測することができる

身体の動き<上肢の操作>

4. 手に持っている物で、机や台をたたくことができる

7. 両手を合わせて拍手ができる

コミュニケーション<表出(発声・発語)>

2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる。

3. 嬉しい時に快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

4. 気に入らないと「うーうー」などの声を出して怒りを表すことができる。

<伝達>

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○学習内容	
○「♪へい!たんぷりん」 (音楽遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ・曲に合わせて行進する。 ・曲に合わせてタッピングを受ける。 ・曲を聴きながらタンプリンに触れたり、歌詞に合わせて体の各部位を打ったりする。
○「♪どんぐりさんのおうち」 (音楽遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に歌ったり、簡単な振り付けで身体を動かしたりする。 ・曲に合わせて、山に見立てた布や模造紙の下をくぐる。 ・自分の好きな楽器を見つけ、教師と一緒に鳴らす。
○「♪とんくるりん ばんくるりん」 (音楽遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ・3拍子のリズムに乗って、タッピングを受けたり、動いたりする。 ・友達と向かい合い(隣同士になって)、リズムに合わせて肩や膝を叩きあう。 ・教師と一緒に打楽器を叩く(大太鼓、小太鼓、コンガなど)
○「♪口ぶえ吹きと子犬」 (音楽遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ・流れてくる音楽に耳を澄まし、静かに聴く。

○評価規準

・流れてきた音に気づき、それを表情や動き、視線等で表していたか。(①)

・曲のテンポやリズムに合わせて、動く、揺れる、タッピングを受ける、などの活動を通して、心地よさや楽しさを感じて笑顔になったり、体の力を抜いて和んだ様子を見せたりしたか。(①)

・提示された教材に目を向ける、手を伸ばす、触れて感じたことを発声やしぐさ、表情に表わすなどし、教材に興味を示していたか。(②)

・楽器が鳴る音に気づく、目の前の楽器に手を伸ばす、叩いたり振ったりして音を出し楽しむなどし、楽器への興味を示したり関わったりする様子が見られたか。(③)

・(何度か学習した曲のイントロが流れてくると)気づいたような表情を見せたり、動きや笑顔(または不快な様子でもOK)で期待感などを示したりしていたか。(①)

小学部低学年「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
いろいろな音をたのしみ②(11、12月)	(1) 音楽が流れている中で体を動かして楽しむ。(小学部1段階) (2) 音の出るおもちゃで遊んだり、扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。(小学部1段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ①音楽に合わせて動く中で、穏やかな表情やリラックスした様子を見せたり、笑顔になったりする。
- ②音楽を聴きながら、目の前に提示された教材に興味をもち、見たり触れたりする。
- ③教師の鳴らす音に気づく・聴き入るなどしたり、教師と一緒にまたは自らの動きで楽器を鳴らしたりする。

- 身につけてほしい力
- 見たり聴いたりする力
 - 興味関心を広げる力
 - 身近な大人とかかわる力
 - 友だちとかかわる力

○関連する自立活動の内容

- 人間関係の形成<人や物との関係(二項～三項関係)>
3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
 8. 欲しい物に手を伸ばすことができる
 11. 両手に握った玩具を打ち合わせて楽しむことができる
- 環境の把握<聴覚>
1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する
 5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる
 6. 音を出す玩具を喜ぶ
 8. 静かな音に興味を示すことができる
- <体性感覚>
8. 玩具を握ったり眺めたりすることができる
 10. 手を伸ばして物をつかむことができる
- <認知>
3. (食事の準備や外出など)身近な出来事が起こることを予測することができる
- 身体の動き<上肢の操作>
4. 手に持っている物で、机や台をたたくことができる
 7. 両手を合わせて拍手ができる
- コミュニケーション<表出(発声・発語)>
2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる
 3. 嬉しい時に快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる。
 4. 気に入らないと「うーうー」などの声を出して怒りを表すことができる
- <伝達>
1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○学習内容

- | | |
|-------------------------|---|
| ○「♪はらぺこあおむし」
(音楽あそび) | ・歌や音の入った大型絵本の読み聞かせを見聴きする。
・あおむしの人形を使い、歌の入ったやりとり遊びをする。 |
| ○「♪ひらいたひらいた」
(音楽あそび) | ・教師が歌う曲に耳を澄ませる。
・パラバルーンを使った活動をする。
(キャスターボードに乗り、曲に合わせて、パラバルーンを握って集まったり離れたりする)。
(パラバルーンの中に入り、曲に合わせて、パラバルーンが閉じたり開いたりするのを見る) |
| ○「♪赤ちゃん象の行進」
(音楽あそび) | ・曲に合わせて、教師と一緒に打楽器を鳴らす。
・曲の流れる中で、一人で楽器を鳴らす。 |

○評価規準

- ・流れてきた音に気づき、それを表情や動き、視線等で表していたか。(①)
- ・曲のテンポやリズムに合わせて、動く、揺れる、タッピングを受ける、などの活動を通して、心地よさや楽しさを感じて笑顔になったり、体の力を抜いて和んだ様子を見せたりしたか。(①)
- ・提示された教材に目を向ける、手を伸ばす、触れて感じたことを発声やしぐさ、表情に表わすなどし、教材に関する興味を示していたか。(②)
- ・楽器が鳴る音に気づく、目の前の楽器に手を伸ばす、叩いたり振ったりして音を出し楽しむなどし、楽器への興味を示したり関わったりする様子が見られたか。(③)
- ・(何度か学習した曲のイントロが流れてくると)気づいたような表情を見せたり、動きや笑顔(または不快な様子でもOK)で期待感などを示したりしていたか。(①)

小学部低学年「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容	
たのしくみんなできこう、あわせてうたおう（1～3月）	(1) 音楽が流れている中で体を動かして楽しむ (2) 好きな音や音楽を聴いて楽しむ。	(小学部1段階) (小学部2段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ① 曲に合わせて身体を動かしたり曲をイメージした雪や春の草花の絵などを見たりするなかで、自分の気持ちを表情や動きで表現できる。
- ② 教師の演奏や楽器の音、歌声に興味をもって聞くことができる。

○身につけてほしい力

- ・ 見たり聴いたりする力
- ・ 興味関心を広げる力

○関連する自立活動の内容

人間関係の形成<人や物との関係(二項～三項関係)>

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
8. 欲しいものに手を伸ばすことができる

環境の把握<聴覚>

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する
5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる
6. 音を出す玩具を喜ぶ

<体性感覚>

8. 玩具を握ったり眺めたりすることができる
10. 手を伸ばして物をつかむことができる

身体の動き<上肢の操作>

2. 目的の物に手を伸ばすことができる
4. 手や持っている物で、机や台をたたくことができる

コミュニケーション<表出(発声・言語)>

2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる
3. 嬉しい時に快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる
4. 「あー」「おー」「うー」など声を出すことができる

<伝達>

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○学習内容

○「♪ゆき」	・ 頭上から模擬雪が舞い落ちる様子を見たり身体で感じたりする。 ・ 教師が歌う歌声に耳を傾けて聴く。
○「♪そろそろはるですよ」	・ 「もぞもぞ」「ごそごそ」などの擬態語に合わせて教師と一緒に身体を動かす。
○「♪はるがきた」	・ 本物の草花を見たり触ったりする。 ・ 教師の歌う歌声に耳を傾けて聴く。
○「♪あの雲のように」	・ 教師が歌う歌声に耳を傾けて聴く。(声の重なりを感じながら) ・ 教師が鳴らす楽器や演奏に耳を傾けて聴く。 ・ 教師と一緒に楽器の音を鳴らしたり、簡単に曲の一部に合わせて音を鳴らしたりする。
○「♪ちびっこカウボーイ」	・ カウボーイの衣装を着て、バルーンに乗って曲のリズムに合わせて揺れる。曲の前半と後半の旋律の違いに合わせて、違う揺れ方の中で揺れる。 ・ 歌とリコーダーのアンサンブルを聴く。
○「♪エリーゼのために」	・ 流れてくるピアノ演奏に耳を澄まし、静かに聴く。
○「♪ミッキーマウスマーチ」	・ 曲に合わせて車いすで移動する(進む、止まる、回る、左右に揺れる、集まる)

○評価規準

- ・ 流れてきた音に気づき、それを表情や動き、視線等で表していたか。(②)
- ・ 曲のテンポやリズムに合わせて車いすで動いたり教師と一緒に身体を動かしたりする中で、心地よさや楽しさを感じて笑顔になったり、体の力を抜いて和んだ様子を見せたりしたか。(①)
- ・ 提示された教材に目を向ける、手を伸ばす、触れて感じたことを発声やしぐさ、表情に表わすなどし、教材に興味を示していたか。(①)
- ・ 楽器が鳴る音に気づく、目の前の楽器に手を伸ばす、叩いたり振ったりして音を出し楽しむなどし、楽器への興味を示したり関わったりする様子が見られたか。(②)
- ・ (何度か学習した曲のイントロが流れてくると) 気づいたような表情を見せたり、動きや笑顔(または不快な様子でもOK)で期待感などを示したりしていたか。(②)

小学部高学年「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
曲の気分を感じて (4. 5月)	(1) 音楽が流れている中で、身体を動かして楽しむ。(小学部1段階) (2) 音の出るおもちゃで遊んだり扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。(小学部1段階) (3) 好きな音や音楽を聴いて楽しむ。(小学部2段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ①音や音楽に合わせて揺れたり、滑ったりすることでリラックスして自分の思いを表出する。
- ②鑑賞や教師の演奏を通して、楽器の音に気づいたり、楽器に興味をもち一人もしくは教師と一緒に演奏したりする。

- 身につけてほしい力
見たり聴いたりする力
興味関心を広げる力
身近な大人とかかわる力

○関連する自立活動の内容

心理的な安定〈情緒〉

1. 泣いていても抱き上げられると落ち着くことができる
3. 嬉しいときに快の表情を表したり一人笑いをすることができる

人間関係の形成〈人や物との関係〉

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる

環境の把握感覚〈聴覚〉

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する
5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる

身体の動き〈握る・つまむ〉

3. 玩具等が手に触れると、少しの間小指側で握っていることができる

身体の動き〈上肢の操作〉

2. 目的の物に手を伸ばすことができる

コミュニケーション〈表出(発声・発語)〉

2. 不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる
3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション〈伝達〉

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○学習内容

○はじまりの歌
「♪ドレミの歌」

- ・授業のはじまりや仲間を意識する。
- ・自分のところで教師と一緒に歌ったり、身体を動かしたりする。

○「♪春の小川」

- ・範唱を聴く。
- ・映像を見ながら範唱を聴いたり、歌ったりする。
- ・教師に抱かれたり、手をつないだりして拍子にあわせて揺れる。
- ・曲を聴きながら、毛布スライダーやシーツブランコの揺れを感じる。
- ・曲を聴きながら、ツリーチャイム、レインスティック、ハンドベルの楽器を鳴らす。
- ・各小節の最後にみんなで一斉に音を出す。

○評価規準

- ・曲が流れる中で、揺れや滑走感を感じて身体の力が抜けたり表情がゆるんだりしたか。(①)
- ・曲が流れると笑顔になったり、音がする方へ視線を向けたりすることができたか。(①②)
- ・楽器に触れることを受け入れたり、楽器に視線を向けたり、一人もしくは教師と一緒に楽器を鳴らしたりすることができたか。(②)

小学部高学年「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
みんなで楽しく 音遊び (6. 7月)	(1) 音楽が流れている中で、身体を動かして楽しむ。(小学部1段階) (2) 音の出るおもちゃで遊んだり扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。(小学部1段階) (3) 好きな音や音楽を聴いて楽しむ。(小学部2段階)

<p>○本単元でねらう具体的な目標</p> <p>①音や音楽に合わせて揺れたり、滑ったりすることでリラックスして自分の気持ちを出せる。</p> <p>②鑑賞や教師の演奏を通して楽器の音に気づいたり、楽器に興味をもち一人もしくは教師と一緒に演奏する。</p>	<p>○関連する自立活動の内容</p> <p><u>心理的な安定〈情緒〉</u></p> <p>1. 泣いていても抱き上げられると落ち着くことができる</p> <p>3. 嬉しい時に快の表情を表したり一人笑いをすることができる</p> <p><u>人間関係の形成〈人や物との関係〉</u></p> <p>3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる</p> <p><u>環境の把握〈感覚〈聴覚〉〉</u></p> <p>1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する</p> <p>5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる</p> <p><u>身体の動き〈握る・つまむ〉</u></p> <p>3. 玩具等が手に触れると、少しの間小指側で握っていることができる</p> <p><u>身体の動き〈上肢の操作〉</u></p> <p>2. 目的の物に手を伸ばすことができる</p> <p><u>コミュニケーション〈表出〈発声・発語〉〉</u></p> <p>2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる</p> <p>3. 嬉しいときに快の表情を表したり一人笑いをしたりすることができる</p> <p><u>コミュニケーション〈伝達〉</u></p> <p>1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる</p>
<p>○身につけてほしい力</p> <p>興味関心を広げる力</p> <p>友だちとかかわる力</p> <p>余暇を楽しむ力</p>	

○学習内容	
○はじまりの歌 「♪ドレミの歌」 ○「♪ピクニック」	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじまりや仲間を意識する。 ・範唱を聴いたり、歌ったりする。 ・あひるチームとやぎチームに分かれて、向かい合って歌う。 ・鳴き声のフレーズで、簡単な打楽器を用いて音を出す。 ・動物の名前を友だちや教師の名前に変えて、鳴き声のフレーズで手拍子や打楽器を用いて音を出す。
○「♪やさしい風に」	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を聴きながら、いろいろな姿勢でパラバルーンを見たり、触れたりする。 ・パラバルーンを動きの変化から、曲の始まりと終わりや盛り上がりを感じる。
○「♪夏の思い出」	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノを触って響きを感じたり、音を出すことを楽しむ。 ・ピアノとりコーダーの音の重なり気づく。

○評価規準
<ul style="list-style-type: none"> ・拍子を感じて身体を動かしたり、パラバルーンの揺れの変化に気づいて曲の盛り上がりを感じることができたか。(①) ・ピアノとりコーダーの音が出ている方へ視線を向けたり、音の重なりを感じて快の表情を表すことができたか。(①②) ・一人もしくは教師の援助を受けながら、鳴き声のフレーズで楽器に視線を向けたり音を出したりすることができたか。(②) ・ピアノの音を出すことに気持ちを向け、視線を送ったり指を動かそうとすることができたか。(②)

小学部高学年「音楽」指導内容表

单元名	学習指導要領の内容
日本の歌に親しもう (9月・10月)	(1) 音楽が流れている中で、身体を動かして楽しむ。(小学部1段階) (2) 音の出るおもちゃで遊んだり扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。(小学部1段階) (3) 好きな音や音楽を聴いて楽しむ。(小学部2段階)

○本单元でねらう具体的な目標

- ①音楽が流れている中で、一人または教師と一緒に身体を動かしたり、楽器を鳴らしたりして楽しむ。
- ②音や音楽に気づき、違いを聞き分けて表出する。

○関連する自立活動の内容

心理的な安定〈情緒〉

- 1. 泣いていても抱き上げられると落ち着くことができる
- 3. 嬉しいときに快の表情を表したり一人笑いをすることができる

人間関係の形成〈人や物との関係〉

- 3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる

環境の把握感覚〈聴覚〉

- 1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する
- 5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる

身体の動き〈握る・つまむ〉

- 3. 玩具等が手に触れると、少しの間小指側で握っていることができる

身体の動き〈上肢の操作〉

- 2. 目的の物に手を伸ばすことができる

コミュニケーション〈表出(発声・発語)〉

- 2. 不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる
- 3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション〈伝達〉

- 1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○身につけてほしい力
興味関心を広げる力
身近な大人とかかわる力
友だちとかかわる力

○学習内容

○はじまりの歌
「♪ドレミの歌」

- ・授業のはじまりや仲間を意識する。
- ・自分のところで教師と一緒に歌ったり、身体を動かしたりする。

○わらべうた
「♪どてかぼちゃ／♪でんでらりゅう／♪日見で饅頭こうて」

- ・範唱を聴く。
- ・楽な姿勢で教師と一緒にふれあい遊びをしたり、道具遊びをしたりする。

○「♪鶴の恩返し」

- ・教師の劇を見る。
- ・役を演じたり、挿入歌を聴きながら楽器を鳴らしたりする。

○「♪エイサー」

- ・エイサーの特徴である「足踏み」「パーランクー」「掛け声」の音や振動を感じる。

○評価規準

- ・楽器に触れることを受け入れたり、楽器に視線を向けたり、一人もしくは教師と一緒に楽器を鳴らしたりすることができたか。(①)
- ・曲が流れる中で、教師の支援を受け入れ身体の力が抜けたり表情がゆるんだりしたか。(①②)
- ・一人もしくは教師と一緒に曲の特徴を感じて身体を動かすことができたか。(①②)
- ・曲が流れると笑顔になったり、音がする方へ視線を向けたりすることができたか。(②)

小学部高学年「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
何の音 どんな感じ (11月・12月)	(1) 音の出るおもちゃで遊んだり扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。(小学部1段階) (2) 好きな音や音楽を聴いて楽しむ。(小学部2段階) (3) 友達や教師とともに簡単なリズムの特徴を感じ取って身体を動かす。(小学部2段階)

○本単元でねらう具体的な目標

①教師の歌声を聴いたり、音楽に合わせて身体を動かしたりすることでリラックスして自分の思いを表出する。

②鑑賞や教師の演奏を通して楽器の音に気づいたり楽器に興味をもち一人もしくは教師と一緒に演奏したりする。

○身につけてほしい力
見たり聴いたりする力
興味関心を広げる力、
身余暇を楽しむ力

○関連する自立活動の内容

心理的な安定〈情緒〉

1. 泣いていても抱き上げられると落ち着くことができる
3. 嬉しいときに快の表情を表したり一人笑いをすることができる

人間関係の形成人・物との関係

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる

環境の把握感覚〈聴覚〉

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する
5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる

身体の動き〈握る・つまむ〉

3. 玩具等が手に触れると、少しの間小指側で握っていることができる

身体の動き〈上肢の操作〉

2. 目的の物に手を伸ばすことができる

コミュニケーション〈表出(発声・発語)〉

2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる
3. 嬉しいときに快の表情を表したり一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション〈伝達〉

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○学習内容	
○「♪まっかな秋」	・ 範唱を聴く、教師の2部合唱を聴く。 ・ 本物の落ち葉やからすうりを見たり触ったり、または紅葉の映像を見たりして秋の情景を感じる。
○「♪あわてんぼうのサンタクロース」	・ 曲に合わせて、簡単なリズムを打楽器(大太鼓、タンバリン、ウッドブロック)を一人または教師と一緒に演奏する。
○「♪子犬のワルツ」	・ 犬のおもちゃが動いたり鳴いたりする様子を見て、曲のイメージをもつ。 ・ 部屋を暗くしたり、臥位をとったりしてゆっくり曲を聴く。
○「♪エンターティナー」	・ 教師の生演奏を聴く。 ・ 実際に楽器を触ってみる。

○評価規準

・ 曲が流れる中で、身体の力が抜け表情がゆるんだり、自ら身体を動かしたりして楽しむことができたか。(①)

・ 楽器の振動を感じる、楽器に触れる、楽器を見る、音を出すなどして楽器に興味をもつことができたか。(①)

・ 曲が流れると笑顔になったり、音がする方へ視線を向けたりすることができたか。(①、②)

小学部高学年「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
音楽で世界を旅しよう (1～3月)	(1) 音楽が流れている中で、身体を動かして楽しむ。(小学部1段階) (2) 音の出るおもちゃで遊んだり扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。(小学部1段階) (3) 好きな音や音楽を聴いて楽しむ。(小学部2段階)

<p>○本単元でねらう具体的な目標</p> <p>① 雰囲気を感じて身体を動かしたり、援助を受けながら楽器を鳴らしたり声を出したりすることを楽しむ。</p> <p>② 音や音楽に気づき、違いを聞き分けて表出する。</p>	<p>○関連する自立活動の内容</p> <p><u>心理的な安定〈情緒〉</u></p> <p>1. 泣いていても抱き上げられると、落ち着くことができる</p> <p>3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをすることができる</p> <p><u>人間関係の形成〈人や物との関係〉</u></p> <p>3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる</p> <p><u>環境の把握感覚〈聴覚〉</u></p> <p>1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する</p> <p>5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる</p> <p><u>身体の動き〈握る・つまむ〉</u></p> <p>3. 玩具等が手に触れると、少しの間小指側で握っていることができる</p> <p><u>身体の動き〈上肢の操作〉</u></p> <p>2. 目的の物に手を伸ばすことができる</p> <p><u>コミュニケーション〈表出〈発声・発語〉〉</u></p> <p>2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる</p> <p>3. 嬉しいときに快の表情を表したり一人笑いをしたりすることができる</p> <p><u>コミュニケーション〈伝達〉</u></p> <p>1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる</p>
--	---

○身につけてほしい力
興味関心を広げる力
身近な大人とかかわる力
友だちとかかわる力

○学習内容	
○「♪むっくりくまさん」 (スウェーデン民謡)	・ 追いかけてごっこをしながら、歌を歌ったり身体を動かしたりする。 ・ 曲の終わりに気づいたり、期待したりする。
○「♪森のくまさん」 (アメリカ民謡)	・ 人形や教師の劇を見ながら、交互唱を聴く。 ・ 交互唱をする。 ・ ボディーパーカッションをしたり、楽器を鳴らしたりする。
○「♪アリラン」 (韓国)	・ 部屋を暗くし、楽な姿勢で聴く。
○「♪校歌」／「♪卒業式歌」	・ 二部合唱を聴いたり、声を出したりする。

○評価規準	
・ 楽器に触れることを受け入れたり、楽器に視線を向けたり、一人もしくは教師と一緒に楽器を鳴らしたりすることができたか。(①)	
・ 一人もしくは教師と一緒に曲の特徴を感じて身体を動かしたり声を出したりすることができたか。(①②)	
・ 曲が流れると笑顔になったり、音がする方へ視線を向けたりすることができたか。(②)	
・ 曲が流れる中で、教師の支援を受け入れ身体の力が抜けたり表情がゆるんだりしたか。(②)	

中学部「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
曲想を感じ取ろう (4・5月)	(1) 身近な人の歌や演奏などを聴き、いろいろな音楽に関心をもつ。 (小学部3段階) (2) 打楽器などを使ってリズム遊びや簡単な合奏をする。(小学部2段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ① 曲想の違いに気づき、好きな旋律や音やフレーズを見つけることができる。
- ② 合図に合わせて音を鳴らすことができる

○関連する自立活動の内容

人間関係の形成<人や物との関係>

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
環境の把握<感覚(聴覚)>

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する
5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる

身体の動き<上肢の操作>

2. 目的の物に手を伸ばすことができる
3. 玩具等が手に触れると、少しの間小指側で握っていることができる

コミュニケーション<表出(発声・発語)>

2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる
3. 嬉しい時に快の表情を表したり一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション<伝達>

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○身につけてほしい力
見たり聴いたりする力
興味関心を広げる力
余暇を楽しむ力

○学習内容

- | | |
|-----------------|--|
| ○「♪テキーラ」(器楽) | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なリズムを手拍子やタッピング、机をたたく振動から感じる。 ・タンバリンやマラカスなど好きな楽器で音を鳴らす。 ・友達や教師の楽器の音を聴いたり、一緒に合奏したりする。 ・リズムに合わせて、教師と一緒に身体を動かしながら音を鳴らす。 ・リズムを意識して音を鳴らす。 |
| ○「♪早春賦」(歌唱) | <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見ながら「早春賦」を聴く。 ・楽曲(早春賦)についての簡単な説明を聞く。 ・自分なりの歌い方で歌う。 |
| ○「♪モルダウ」(鑑賞・歌唱) | <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲にまつわる簡単な話を聞く。 ・映像を見て情景を思い浮かべながら聴く。 ・主題を歌うことで、曲に対する関心をもつ。 |

○評価規準

- ・歌声や曲に静かに耳を傾けたり、笑顔を見せたり、フレーズを覚えて口ずさんだりすることができたか。(①)
- ・曲の山場や強弱、速さ、終わりなどを感じとり、身体を動かしたり、表情を変えたりする様子が見られたか。(①)
- ・鑑賞曲を繰り返し聴いて、「聴いたことあるよ」「ここが好きだよ」などという思いを表情やしぐさで表わすことができたか。(①)
- ・手拍子やタッピング、机からの振動でリズムに気づき、顔をあげたり、拍子をとったり、声に出したりすることができたか。(②)
- ・教師の合図や伴奏を聴きながら音を鳴らすことができたか。(②)

中学部「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
曲想を感じとろう (6・7月)	(1) 身近な人の歌や演奏などを聴き、いろいろな音楽に関心をもつ。 (小学部3段階) (2) 打楽器などを使ってリズム遊びや簡単な合奏をする。(小学部2段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ①曲想の違いに気づき、好きな旋律や音やフレーズを見つけることができる。
- ②合図に合わせて音を鳴らすことができる。

○関連する自立活動の内容

人間関係の形成<人や物との関係>

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
環境の把握<感覚(聴覚)>

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する
5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる
身体の動き<上肢の操作>

2. 目的の物に手を伸ばすことができる

3. 玩具等が手に触れると、少しの間小指側で握っていることができる

コミュニケーション<表出(発声・発語)>

2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる

3. 嬉しい時に快の表情を表したり一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション<伝達>

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

- 身につけてほしい力
見たり聴いたりする力
興味関心を広げる力
余暇を楽しむ力

○学習内容

○「♪きらきら星」(器楽)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドベルやベルハーモニーで音を鳴らす。 ・友達や教師の演奏を聴いたり、合図に合わせてみんなで演奏したりする。
○「♪ドナドナ」(歌唱・鑑賞)	<ul style="list-style-type: none"> ・映像を見ながら「ドナドナ」を聴く。 ・教師が歌う独唱と混声3部合唱を聴き比べる。 ・自分なりの歌い方で歌う。
○「心を合わせて手拍子タタン」(身体表現)	<ul style="list-style-type: none"> ・前半は3つの異なるリズムで鳴らす手拍子の重なりを、後半は全員が同じリズムで鳴らす手拍子の音や掛け声を聴く。 ・それらのリズムを振動や身体を動かすことで感じたり、机をたたいて鳴らしてみたりする。
○「♪魔王」(鑑賞) 「♪野ばら」	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲にまつわる簡単な話を聞く。 ・教師の歌やCDを聴く。シューベルト作の2曲を聴き比べる。

○評価規準

- ・歌声や曲に静かに耳を傾けたり、笑顔を見せたり、フレーズを覚えて口ずさんだりすることができたか。(①)
- ・曲の山場や強弱、速さ、終わりなどを感じとり、身体を動かしたり、表情を変えたりする様子が見られたか。(①)
- ・曲を繰り返し聴いて、「聴いたことあるよ」「ここが好きだよ」などという思いを表情やしぐさで表わすことができたか。(①)
- ・手拍子やタッピング、机からの振動でリズムに気づき、顔をあげたり、拍子をとったり、声を出したりすることができたか。(②)
- ・教師の合図や伴奏を聴きながら音を鳴らすことができたか。(②)

中学部「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
和の雰囲気表現しよう (9・10月)	(1) 身近な人の歌や演奏などを聴き、いろいろな音楽に関心をもつ。(小学部3段階) (2) 打楽器などを使ってリズム遊びや簡単な合奏をする。(小学部2段階)

○本単元でねらう具体的な目標

①和の雰囲気の音楽に親しみ、好きな旋律や音やフレーズを見つけることができる。

②合図に合わせて音を鳴らすことができる

○関連する自立活動の内容

人間関係の形成<人や物との関係>
3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる

環境の把握<感覚(聴覚)>
1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する
5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる

身体の動き<上肢の操作>
2. 目的の物に手を伸ばすことができる
3. 玩具等が手に触れると、少しの間小指側で握っていることができる

コミュニケーション<表出(発声・発語)>
2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる
3. 嬉しい時に快の表情を表したり一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション<伝達>
1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○身につけてほしい力
見たり聴いたりする力
興味関心を広げる力
余暇を楽しむ力

○学習内容	
○「♪Head Shoulders Knees And Toes」(身体表現)	・繰り返しのリズムやフレーズを聴きながら、身体の部位を触って楽しむ。
○「♪ソーラン節」(歌唱)	・映像を見ながら日本の民謡を聴く。 ・「はいはい」や「どっこいしょどっこいしょ」のかけ声に合わせて、声を出す、手を上げる、顔を上げる、身振りをする。 ・民謡と現代版の違いに気づき、表情や身体の動きで表す。
○「♪千羽鶴」(鑑賞)	・楽曲(千羽鶴)についての簡単な説明を聞く。 ・映像を見たり、具体物に触れたりしながら「千羽鶴」を聴く。 ・教師の合唱による「千羽鶴」を聴く。
○「♪長崎くんち」(身体表現・器楽)	・楽曲にまつわる簡単な話を聞く。 ・映像を見て情景を思い浮かべながら聴く。 ・くんちの音楽に合わせて、机、大太鼓を鳴らす。

○評価規準

・歌声や曲に静かに耳を傾けたり、笑顔を見せたり、フレーズを覚えて口ずさんだりすることができたか。(①)

・曲の山場やテンポの違い、終わりなどを感じとり、身体を動かしたり、表情を変えたりする様子が見られたか。(①)

・鑑賞曲を繰り返し聴いて、「聴いたことあるよ」「ここが好きだよ」などという思いを表情やしぐさで表わすことができたか。(①)

・手拍子やタッピング、机からの振動でリズムに気づき、顔をあげたり、拍子をとったり、声に出したりすることができたか。(②)

・教師の合図や伴奏を聴きながら、あるいは教師と一緒に音を鳴らすことができたか。(②)

中学部「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
和の雰囲気表現しよう (11・12月)	(1) 身近な人の歌や演奏などを聴き、いろいろな音楽に関心をもつ。 (小学部3段階) (2) 打楽器などを使ってリズム遊びや簡単な合奏をする (小学部2段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ①和の雰囲気の音楽に親しみ、好きな旋律や音やフレーズを見つけることができる。
- ②合図に合わせて音を鳴らすことができる

○関連する自立活動の内容

人間関係の形成<人や物との関係>

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
環境の把握<感覚(聴覚)>

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する

5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる

身体の動き<上肢の操作>

2. 目的の物に手を伸ばすことができる

3. 玩具等が手に触れると、少しの間小指側で握っていることができる

コミュニケーション<表出(発声・発語)>

2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる

3. 嬉しい時に快の表情を表したり一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション<伝達>

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○身につけてほしい力
見たり聴いたりする力
興味関心を広げる力
余暇を楽しむ力

○学習内容

○「♪ホーキーポーキー」
(身体表現)

- ・繰り返しのリズムやフレーズを聴きながら、身体の部位を触って楽しむ
- ・動きや状況の変化を感じる

○「♪赤とんぼ」(歌唱)

- ・童謡(和)の雰囲気を感じながら聴く。
- ・赤い光を浴びて夕焼けをイメージしながら聴く。
- ・自分なりの歌い方で歌う。
- ・ソロ演奏と混声合唱の違いを味わう。

○「♪長崎くんち」
「♪和太鼓を楽しもう」
(身体表現・器楽)

- ・教師の演奏を聴き、違うリズムの重なりと同じリズムの響きを味わう。
- ・教師と一緒に叩き、違うリズムの重なりと同じリズムの響きを実感する。
- ・地打ちのリズムに合わせて、自分なりに和太鼓や竹太鼓を鳴らす。

○「♪オペラ喋々夫人」(鑑賞)

- ・楽曲(喋々夫人)についての簡単な説明を聞く。
- ・心を静めてじっくり「喋々夫人」を聴く。

○評価規準

- ・歌声や曲に静かに耳を傾けたり、笑顔を見せたり、フレーズを覚えて口ずさんだりすることができたか。(①)
- ・曲の山場やテンポの違い、終わりなどを感じとり、身体を動かすや表情を変える様子が見られたか。(①)
- ・鑑賞曲を繰り返し聴いて、「聴いたことあるよ」「ここが好きだよ」などという思いを表情やしぐさで表わすことができたか。(①②)
- ・手拍子やタッピング、机や太鼓からの振動でリズムに気づき、顔をあげたり、拍子をとったり、声に出したりすることができたか。(②)
- ・教師の合図や伴奏を聴きながら、あるいは教師と一緒に太鼓を鳴らすことができたか。(②)

中学部「音楽」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
世界の音楽にふれて みよう(1・2・3月)	(1) いろいろな音楽を楽器の音色などに関心をもって聴く。(中学部) (2) 打楽器などを使ってリズム遊びや簡単な合奏をする。(小学部2段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ①世界の様々なジャンルの楽曲に親しみ、好きな旋律や音やフレーズを見つけることができる。
- ②合図に合わせて音を鳴らすことができる

○身につけてほしい力
見たり聴いたりする力
興味関心を拓げる力
余暇を楽しむ力

○関連する自立活動の内容

人間関係の形成<人や物との関係>

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる

環境の把握<感覚(聴覚)>

1. 大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する

5. 音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる

身体の動き<上肢の操作>

2. 目的の物に手を伸ばすことができる

3. 玩具等が手に触れると、少しの間小指側で握っていることができる

コミュニケーション<表出(発声・発語)>

2. 不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる

3. 嬉しい時に快の表情を表したり一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション<伝達>

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○学習内容

○「♪ラバンバ」
(身体表現・鑑賞)

- ・ノリのよい曲を聴きながら車いすダンスを楽しむ。
- ・ギターの生演奏を聴く。

○「♪サンタルチア」
(歌唱・鑑賞)

- ・映像を見たり、明るい光を感じたりしてカンツォーネの楽しい雰囲気を感じながら聴く。
- ・教師の伸びやかな歌声を聴く。
- ・自分なりの歌い方で歌う。

○「♪四季より春」
(器楽・鑑賞)

- ・楽曲にまつわる簡単な話を聞く。
- ・主題の部分のピアノ演奏に合わせてピアノやキーボードを鳴らす。

○「♪二泉映月」(鑑賞)

- ・楽曲や楽器(二胡)についての簡単な説明を聴く。
- ・映像を見ながら聴く。

○評価規準

- ・歌声や曲に静かに耳を傾けたり、笑顔を見せたり、フレーズやリズムを覚えて口ずさんだりすることができたか。(①)
- ・ノリのよいリズムの楽しさなどを感じとり、身体を動かしたり、表情を変えたりする様子が見られたか。(①)
- ・曲を繰り返し聴いて、「聴いたことあるよ」「ここが好きだよ」などという思いを表情やしぐさで表わすことができたか。(①)
- ・教師の合図や伴奏を聴きながら、あるいは教師と一緒に音を鳴らすことができたか。(②)